

セミナー「信用保証制度の展開：日中比較研究」のお知らせ

孫建国教授（河南大学経済学院教授／東京大学社会科学研究所客員教授）によるセミナーを、下記の要領で開催します。よろしくご参加ください。

2011年1月6日

東京大学社会科学研究所
現代中国研究拠点

記

日 時： 2011年1月11日（火）午後3時～5時

会 場： 東京大学赤門総合研究棟5階 センター会議室
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_08_02_j.html

報告題目：「信用保証制度の展開：日中比較研究」

報告者： 孫建国（経済史・信用制度研究）

連絡先： 東京大学社会科学研究所現代中国研究拠点
kyotencs@iss.u-tokyo.ac.jp（※を@に置き換えてご利用ください）

報告要旨：

近代の日本および中国における信用制度は、経済発展にともなって、いわば内生的に形成されてきたと考えることができる。信用保証制度はこのような信用制度の形成とともに発展をとげてきた。したがって日中とも信用保証制度は、主要には私的な経済活動にかかわる制度として形成されてきた。

しかし今日の中国における信用保証制度は、むしろ政府による制度・政策のもとで上から形成されつつある、というべきであろう。すなわち中国の信用保証制度には、制度面において一種の歴史的な断絶が存在する。他方で日本の場合、信用保証制度に対する制度・政策の関与する度合いが、近年において高まりつつある。

今日の日中両国の経済にとって、リスク・シェアリングの問題はともに重大事ではあるが、具体的に直面する状況はそれぞれ異なる。グローバル化の時代において、信用保証制度やリスク・シェアリングの面で日中両国およびアジアの連携を実現することが重要であり、そのことは国際的にも有益である。